

茨城県で豚流行性下痢 (PED) 発生 (今期 10 例目)

2月14日(水)、茨城県(鹿行地域)で今期(9月以降)10例目の発生がありました。

寒冷で乾燥した季節は、本病の侵入・まん延リスクが高い状態ですので、防疫対策の徹底をお願いします。

1 発生の概要

発生日	2月14日(水)
発生農場	1農場(鹿行地域)
飼養頭数	約2,200頭
発生頭数	哺乳豚70頭
症状	下痢、嘔吐

2 経緯

2月14日、家畜飼養者から家畜保健衛生所(家保)へ異状の通報。
同日、家保職員が立入り病性鑑定を実施。臨床症状と遺伝子検査結果からPEDと確認。

《今季の全国の発生状況》(平成30年2月13日現在、茨城県・本県を除く)
群馬県1件、千葉県2件、愛知県1件、熊本県1件、宮崎県3件

*茨城県では、平成29年11月16日に下妻市一部地域(国道125号線以北)、平成30年1月19日に行方市一部地域(国道354号線以南)、平成30年2月9日に鉾田市が特別防疫対策地域に指定されています。

《感染防止のためにお願いしたいこと》

- ・農場入口で、車両も人も必ず消毒(動力噴霧器等で念入りに)
- ・豚出荷時は、と畜場出口・農場出入口の両方で、車両・人の消毒の徹底
- ・衛生管理区域専用衣服、靴(ブーツカバー)の着用、手指の消毒
- ・豚舎ごとの専任作業員、専用器具、専用作業衣・長靴の使用
- ・豚舎内に持ち込む物(医薬品、袋状飼料等)の外装の消毒
- ・ワクチンの適切な使用(妊娠豚への2回接種、適切な衛生管理)
- ・異状発見時の速やかな通報

☆消毒槽や動力噴霧器の凍結に御注意ください。